**「心に残る文化財子ども塾」学習指導案**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 日　時：平成28年5月25日（水）

10:45～11:30（4校時）

11:40～12:25（5校時）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 場　所：出雲市立中部小学校体育館

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 対象者：同校6年生67名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 指導者：○6年部教職員

　 ○島根県立古代出雲歴史博物館

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　　藤原宏夫・東森晋

１．主題（主題名）

　　　「奈良の大仏」の巨大さと、込められた思い

1. ねらい

　　・「奈良の大仏」について体験的、専門的に学び、巨大さとともに、込められた先人の思いについても触れる。

　　・歴史・文化に対する興味・関心を高める。

|  |  |
| --- | --- |
| 学習活動 | 指導者の支援及び留意点 |
| 10:45～10:55／11:40～11:50（10分）  ①はじめに～大仏パネルの作り方を説明する  10:55～11:20／11:50～12:15（25分）  ②「奈良の大仏」について、その巨大さを体験を通して学ぶ。  ※１ｍ四方の部品パネルをパズル形式で組み立てていき、高さ18ｍの大仏を完成させる。  11:20～11:30／12:15～12:25（10分）  ③奈良の大仏」について、造られた背景と、  　大仏の特徴について学ぶ。 | ・「奈良の大仏」の実物大パネルを活用。  ・造立の背景、大仏開眼式について説明する。  ・一方的な説明に終始せず、子どもたちが「気づき」「わかる」よう、質疑応答の対話形式で進行。  ・理解しやすいよう写真パネルを多用。 |

３．展開

４．準備物等

　　・〔体験用具〕「奈良の大仏」の実物大パネル

　　・〔説明用具〕写真パネル

５．その他

・大仏パネル準備のため、10時過ぎから体育館を使用させていただければと思います。